

教科用図書選定の理由（令和6年度使用小学校用教科用図書）

種 目 国語

記 号 A

出版社名 東京書籍

選定理由

- 写真、挿絵、資料等と文章の構成や、改行の位置や文字のフォント・大きさ・色等が工夫され、シンプルですっきりとした紙面のレイアウトになっている。読みやすく、かつ、見やすくなっているので学習への集中しやすさが期待できる（特別支援教育への配慮にもつながる）。
- 1年生のスタートカリキュラム対応として、文字やページ数が大きく示されていたり、リズムに合わせて発音と動作を組み合わせることで理解を促すような工夫があったりするなど、学習の導入期において有効である。
- どの学年も共通して年度当初に、学級づくりや対話、音読・朗読教材、情報の扱い方（学校図書館活用）が位置付けてあり、国語の基盤作りを重視している。
- 国語科と他教科とのつながりのある教材、日常生活・学校生活とのつながりのある教材、様々な学習活動を行う教材等、児童の興味関心をひきそうな多様なテーマに対応した内容となっている。
- 単元初めに「見通す」「取り組む」「ふり返る」3段階で「学習の流れ」が示されているので、児童が学習内容の見通しをつけやすく、主体的に学習できる。また、「言葉の力」として、単元で育成したい資質・能力がわかりやすく明示しており、意識しながら学習することができる。教師も見通しや評価がしやすくなっている。
- 2次元コードが多数記載されており、学習の振り返りや関連教材、音声教材、練習問題等がデジタル資料として充実している。

教科用図書選定の理由（令和6年度使用小学校用教科用図書）

種 目 書写

記 号 A

出版社名 東京書籍

選定理由

- イラストで穂先の向きや使い方をわかりやすく表現してある。
- 巻末の「書写のかぎ」で学びを振り返りことができるのが良い。
- もくじの「書写の学び方」を見ると、見通しをもって取り組みやすい。
- 擬音で「とん・すう・ぴた」を意識して指導することができる。
- 両開きで学習の流れがよくわかる。（1・2・3と書いてある。）
- 毛筆の学習を硬筆に生かし、書写の学びが日常につながるような構成になっている。
- 発展的な学習が充実している。
- 「展開」で児童同士の対話が繰り広げられる構成になっていて良い。
- 練習量が適量で良い。
- QRコードで自分の書く時の様子やポイントを確かめることができる。（硬筆は両利き用あり）
- 低学年の「しょしゃたいそう」が児童の意欲付けになっている。
- 硬筆練習の際に、上の文字を見ながら書けるので使いやすい。
- 画と画の交わる際に色が濃くなっており、具体的でわかりやすい。
- 1年生の鉛筆の持ち方の写真が両利きあり、指導しやすく、児童もイメージがしやすい。
- 発達段階によって差が出やすい「むすび」の指導がわかりやすい。
- 手首を上手に使うことを意識できる「はらい」等の運筆練習がある。
- 墨や硯や半紙のでき方の動画があって、分かりやすい。
- 石州半紙が取り上げられていて児童が書道用品を身近に感じられることが良い。

教科用図書選定の理由（令和 6 年度使用小学校用教科用図書）

種 目 社会

記 号 A

出版社名 東京書籍

選定理由

- 5 年と 6 年が分冊となっていて、児童が持ち運ぶ際の負担が少ない。
- 字体が読みやすく、文章と資料のバランスも良いので、全体的にすっきりとした構成になっている。また、重要語句（キーワード）が太字ゴシックで強調され、別枠で丁寧に解説されているので、児童が理解しやすい。
- 「つかむ→調べる→まとめる→いかす」という問題解決的な学習を促す表示が明確になっている。学習問題も字体を変えて目立たせている。
- 馴染みのあるキャラクターを随所に活用して、社会科の見方・考え方を意識しながら学習への興味づけを図っている。
- QR コードから、動画でのより詳しい〇〇さんの話や独自のコンテンツ（都道府県カルタ等）を視聴することができ、家庭学習にも活用ができる。またワークシートもそのまま学習に利用できるよう準備されている。
- まとめの学習に書き込みのできる欄があり、言語活動の充実が図られている。「まなびのポイント」や「まなび方コーナー」を生かすことで、児童が発展的に学習を進めやすくなっている。
- 我が国の領土の東西南北端の島々が写真と紹介文で大きく、分かりやすく示されていて、児童が島々の特徴を理解しやすい。（5 年上 p 13）
- 本県に関わる内容が豊富に紹介されている。
 - ・ 4 年 p 128・129 国宝松江城（見開き 2 ページ）
 - ・ 5 年上 p 14 竹島（領土をめぐる問題、韓国の不法占領）
 - ・ 6 年歴史 p 58 雪舟が島根県（石見）を訪れたという記述
 - ・ 6 年歴史 p 73 石見銀山（豊臣秀吉の財力を支えたという記述）
- 6 年歴史で同和問題学習に関する記述が充実している。（6 カ所確認）

教科用図書選定の理由（令和 6 年度使用小学校用教科用図書）

種 目	地図
記 号	J
出版社名	帝国書院

選定理由

○UD 文字（独自開発したものを含む）と色合いのバランスがよく、1 ページあたりの情報量も適切で地図が見やすく、目的のものを探しやすい。

○初めて地図を活用する 3 年生にとってわかりやすく、地図に親しんだり興味関心を高めたりする工夫や配慮が多く、ページを使ってなされている。（P 1 ～30）

○各ページで「地図マスターへの道」が設けてあり、興味関心をもたせながら地図活用の力を向上させることが期待できる。

○デジタル端末に対応したアニメーションによる解説やクイズ、動画や VR 画像等、631 の QR コンテンツが設けてあり、学びを深めたり、意欲を高めたりできるよう工夫されている。

○世界の地図のページには、そのページに記載されている国の簡単なデータが写真付きで示されており、外国に興味を持つとともに外国語活動・外国語でも有効に活用できる。また、関連する人物や物語の舞台となった場所などの記述もあり、子どもたちの外国への興味関心につながる。

○SDGs の取組について示してあり（P125～126）、世界の地図のページ（P83～94）には「世界の SDG s」が紹介されているため、日本や世界の課題に向き合おうとする姿勢につながる。

○囲み地図が設けられており、その地域の産業やくらしの様子についてより理解が深まるように工夫されていたり、巻末の資料図が豊富にあったりするなど各学年の学習内容に沿った資料が豊富にある。

○「日本固有の領土」として、北方領土や尖閣諸島とともに竹島も同じページに記載されており、分かりやすく書かれている。（P31～32）

○自然災害に備えての記載が充実している。過去の災害だけでなく、未来に向けての災害への備えを記述するとともに、地域の防災マップ作りへの発展も視野に入れて構成されている。（P99～102）

教科用図書選定の理由（令和 6 年度使用小学校用教科用図書）

種 目 算数

記 号 F

出版社名 教育出版

選定理由

○全体的に説明が少なく、見やすい。

○学習のまとまりごとに「課題→ステップ→話し合い→まとめ→たしかめ→練習」という展開で構成してあり学習の流れがわかりやすい。

○ポイントを 4 コマ漫画でまとめてあり、子どもの目にとまりやすく、理解しやすくなっている。

○基礎基本の内容と発展的な内容のバランスがよい。計算問題の量もちょうどよい。多くの課題に取り組みたい場合には、巻末の「ステップアップ算数」で発展問題に取り組むことができるようにしてある。

○単元のまとめで誤答しやすい問題を取り上げている。

○「広がる算数」や「算数ワールド」で発展的な内容を扱っている。「広がる算数」では QR コードによる説明もあり、興味をもった子どもがより発展的に調べることができるようにしてある。

○「学びの手引き」で、算数用具の扱いや数直線の書き方などを復習できるようにしてある。

○学び合いの場面では、正答と誤答を提示する場合と、異なる方法を提示する場合の両方を設け、単元に応じた学び合いの仕方の工夫がしてある。

○関連しているページを示すことによって、児童が既習のページに戻ったり、発展問題のページに進んだりできるようにしている。

教科用図書選定の理由（令和6年度使用小学校用教科用図書）

種 目	理科
-----	----

記 号	A
-----	---

出版社名	東京書籍
------	------

選定理由

○デジタルコンテンツが多く準備され、変化の様子等を適宜、動画で確認できるようになっている。また、コンテンツを活用した家庭学習にも対応できるようになっている。

○個別最適な学びができるよう、授業のサポートとしてデジタルの理科ノートが準備されている。

○単元導入に「レッツトライ！」という名称で体験したり、写真を見比べたりして問題の発見を促す構成になっている。

○単元末の発展部分が児童の生活と結びつきやすい内容である。また「ふりかえろう」「たしかめよう」のコーナーで自主学習への意欲を高めるよう工夫されている。

○ユニバーサルデザインの視点に立って、文字の大きさや配色が工夫されているとともに、学びの流れが可視化され、見通しを持ちながら学習に取り組むことができる。

○5年生 p76 で県内の河川、6年生 p118 で県内の地層が紹介されており、児童の実生活と関連付けやすくなっている。

○「理科の世界探検」のページが設けられており、生活と結びついた発展的な内容を取り上げている。児童に理科の有用性を感じさせるとともに、理科の魅力を伝える内容となっている。

教科用図書選定の理由（令和 6 年度使用小学校用教科用図書）

種 目

生活科

記 号

K

出版社名

新興出版社啓林館

選定理由

- A4 より縦 4 cm 短い正方形に近いサイズの上下巻である。低学年の児童に扱いやすく持ち運びがしやすいサイズである。外での学習にも持って行きやすい。
- すべての児童にとって学びやすいインクルーシブ教育への配慮がなされている。
 - ・紙面の内容が判別しやすい配色で柔らかな色調の文字やイラストが用いられている。
 - また、上下巻ともにすべての漢字には、ふりがなが付いている。
 - ・基本的な文字のフォントが国語科や書写の文字指導で使用されるUDフォントの使用。
 - ・余裕のあるレイアウトで構成要素の位置（小单元名、本文、各種コーナー、衛生面や安全面の配慮、記入カード例、めくり言葉など）が各紙面内で固定されている。
- 「すたあとぶっく」（上巻巻頭）は、17 ページと充実しており、新 1 年生が安心して楽しみながら学べる配慮や工夫がなされている。（紙面が小サイズ、丸角、数字ルビ、写真やイラストを多く使用、幼児期写真からのスタート、児童の言葉や指導者の声掛け場面、保護者の方への説明、他教科との関わり）
- 「3 年生へのステップブック」（下巻巻末）では、児童が自信と意欲をもって 3 年生へつながら工夫がされている。（小寸サイズの観音開きで、幼児期から生活科の 2 年間、そして 3 年生へと学びのつながりが、ストーリーとして見てわかるようになっている。）
- すべての単元において「わくわく」（導入）、「いきいき」（主な活動）、「ぐんぐん」（振り返り）の 3 段階で構成され、学習指導要領に記載されている学習過程の基本に沿った流れで学習を進めることができる。単元全体の見通しを持ちやすく、授業計画も立てやすい。
- 紙面右下にめくり言葉（「もっと〇〇したいな」など活動の中で生まれた気づきや次への思いや願い）があり、児童の思いや願いをつなげ、興味や探究が続く仕掛けになっている。活動が途切れることなくスパイラルに学びを深めていくことに効果的である。
- 教科書内の「びっくりずかん」、上下巻それぞれの巻末にある「がくしゅうずかん」、QR コンテンツ内「デジタルたんけんブック」の 3 つの図鑑や QR コードを読み取って使用するコンテンツと豊富な資料が用意されており、気付きの質を高めて学びを深められる充実した活動や学習が期待できる。
- 「ひろがるきもち」や「おうちでもっとせいかつか」、「保護者の皆様へ」のコーナーがあり、家庭と連携して学びを支えていくことに効果的である。
- 表現物のまとめ方や発表方法、板書や掲示例、活動の場の作り方、教師の声掛けや立ち振る舞いなどが示されており、具体的な取組の見通しとイメージを持つことができる。
- 各単元末には、「できるかな できたかな？」コーナーがあり、振り返りの視点を資質・能力の 3 つの柱で整理されあり、指導と評価の手がかりとなる。

教科用図書選定の理由（令和6年度使用小学校用教科用図書）

種 目 音楽

記 号 H

出版社名 教育芸術社

選定理由

- 歌唱、合奏等、楽曲のレベルが児童に適したものである。
- 全体を通じ、2学年連続での題材配置となっており、繰り返し学習することで音楽性の向上をねらうことができるよう配慮されている。また、奇数学年から偶数学年で発展した学習になるよう工夫されている。これらは、複式学級が多くある本地区の指導に適していると考ええる。
- 教科書に出てくる「見つける」「考える」「演奏する」等のマークが学びの道しるべになり、児童・指導者ともに学習のねらいが明確になる。音楽が専門でない担任でも指導できるよう配慮されている。
- 二次元コードが随所にあり、興味をもって学習に取り組むことができる。また、音楽づくり・リコーダーの取り扱い・練習曲等が入っており、友達と活動ができるようになっている。さらに、発展学習として家庭での学習につなげられるよう工夫されている。
- 島根県出身の演奏家が登場する。（5年 p.44）また、4年生では熊野大社さざれ石や裏表紙に石見神楽を取り扱っており、本県教育の基本理念である「島根を愛す」人づくりにつなげることができるよう配慮されている。
- 特集「著作権について」（6年 p.24）や「音楽のもっている力や役割」（6年 p.43）では、音楽科の学習が生涯学習につながるよう配慮されている。

教科用図書選定の理由（令和 6 年度使用小学校用教科用図書）

種 目	図画工作
-----	------

記 号	C
-----	---

出版社名	開隆堂
------	-----

選定理由

- 教科書に示されているめあてが 3 観点で示されており、どの学年も簡潔で分かりやすい。特に重点を置くめあては赤字で示されており、指導者も付けたい力を意識して指導ができる。また、教科書下部に示された振り返りと上部に示されためあても一貫性がある。
- めあての 3 観点に合わせたキャラクターが吹き出しで発問を投げかけており、児童の思いが膨らむような仕掛けになっている。
- 活動中の児童の写真が表情豊かで、児童の「やってみたい」という意欲を高めるものになっている。
- どんな材料を使ってどのような手順で進めるのかが、絵や写真で分かりやすく示してある。
- 技法や作品例が多数掲載されており、児童の発想の手掛かりとなる。
- 学校行事や他教科との関連を意識した題材がある。また、教科書の下部に他教科のどのような力と関連するのかといった内容も書かれており、教科横断的な学習をする上で児童にとってもとても参考になる。
- 高学年では名画が多数掲載されている。写真も大きく、鑑賞にも使いやすい。
- 教科書の終わりにある「みんなのギャラリー」には、様々な地域の伝統文化や芸術が紹介されている。5・6 年上には出雲の一式飾りもあり、地域の古くから伝わるものの美しさに目を向けるきっかけになる。
- 表紙の裏面にアーティストの言葉や作品の紹介がある。様々な芸術・文化にかかわる仕事に触れるきっかけになり、キャリア教育にもつながる。
- 題材ごとに QR コードがあり、読み込むとワークシート等がダウンロードできるようになっている。

教科用図書選定の理由（令和 6 年度使用小学校用教科用図書）

種 目	家庭科
-----	-----

記 号	A
-----	---

出版社名	東京書籍
------	------

選定理由

- 単元数が少なく、複式学級でも指導したり、計画がたてやすい。
- 考えながら制作できるように構成してある。P87, P116 等
- 話し合い活動を取り入れ、言語活動の充実が図れるようにしてある。
- 成長の記録ページがあり、2 年間で自分の成長を振り返ったり、見通しを持って学習したりできる。P6~P7
- デジタルコンテンツのワークシートや動画がわかりやすく使いやすいので、子どもたちの興味・関心をひくことができる。
- 早い段階で SDG s の取り組みが単元の中に組み込まれているので、それをいかして実践することができる。P42
- 発展的学習がわかりやすく、進めやすくなっているため、長期休み等に取り組みやすい。P35, P66, P121
- 地域の中で、自分が大切な一員であるという自覚が育てられるような単元がある。P128~

教科用図書選定の理由（令和6年度使用小学校用教科用図書）

種 目	保健
-----	----

記 号	A
-----	---

出版社名	東京書籍
------	------

選定理由

- 教科書の冒頭に「保健の学習でこんな力をつけよう」と視覚化してあり、つけたい力がはっきりして、何を学ぶのか見通しをもちやすい。
- QR コードを使って動画をみることができ、児童の学習が意欲的、主体的に行えるような工夫がある。
- イラスト、写真、生活の流れ等の資料の情報量が多すぎず、バランスがとてもよく、児童が困惑せずに文章や資料に目を向けることができる。
- 大切な言葉が太字になったり、解説で詳しく説明してあったりするの
で、理解しやすく、おさえやすい。
- ユニバーサルデザイン、インターネットの使い方などの「資料」は、
学びを人生や社会に生かそうとしたり、学びに向かう力を育てたり
する工夫が図られている。
- 学びの流れが4段階「気づく・見つける。調べる・解決する。深める・伝える。まとめる・生かす。」が毎時間設定され、児童も指導者も学習の流れがはっきりとしていて見通しをもちやすい。
- 「まとめる・生かす」「解説」「まめちしき」で知識、技能を習得しながら、まとめができる。
- 各授業の最後のステップ4（まとめる・生かす）で、ポイントを再確認できるように（ ）にキーワードを記入したり、キーワードを使ってまとめたり、「自分にできること」を記入したりする欄がある。学習内容の深い理解につながったり、自分の生活とつなげたりすることに効果的である。
- 「どんな自分になりたいかな」を考えることにより、自ら課題を見つけ、主体的に学習に取り組むことができる。

教科用図書選定の理由（令和 6 年度使用小学校用教科用図書）

種 目	外国語
-----	-----

記 号	A
-----	---

出版社名	東京書籍
------	------

選定理由

- A4サイズのテキストで、見やすい構成となっている。
- スピーチの素材や話題がより身近なもので、子どものしゃべりやすいものとなっている。
- 各 Unit が、児童の日常生活から導き出される題材が選定されている。
- 外国風のイラストや現代風のイラスト、多くの写真などを取り入れて、児童の関心を高める工夫がされている。
- 巻末のカードが準備され、児童の興味を高める工夫がしてある。
- Sounds and Letters では、各活動を楽しく行い、聞く・書く活動ができるように工夫してある。
- Enjoy Communication で単元に関連する表現を用いて、児童同士で話す活動に取り組めるように工夫してある。
- 別冊の Picture Dictionary（PD）を活用して、児童が家庭学習でも外国語を学ぶことができるように工夫してある。また、英語の会話で使える表現があり、活用しやすい。
- PDが別冊になっているので、PDを見ながら書き写すことができる。
- 1 ページに載っている英語の分量や内容は中学校に近い。中学校への接続が円滑になるものとなっている。
- 英語がたくさん書いてあり、英語にふれる機会が多いので中学校との接続がスムーズになる。
- 聞く、読む、話す、書く活動がたくさんできる。
- 書き込むところが十分あり、自分の考えを反映しやすい。

教科用図書選定の理由（令和6年度使用小学校用教科用図書）

種 目 道徳

記 号 I

出版社名 光村図書

選定理由

- 1時間の学びのイメージを持って学習に取り組むことができる構成になっている。
- ・題名下のキャラクターによる投げかけが導入の発問例として示しており、児童の日常生活と教材をつなぎ、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。
- ・教材末の「考えよう・話し合おう」には、学びのテーマが示されていて学習の見通しが持てる。
- ・考えを深める3つの発問（①道徳的な価値を明らかにする。②道徳的価値についての理解や自覚を深める。③自分に引きつける・テーマ的に考える。）が示され、さらに考えたことを問い直す投げかけも示されていて、人間理解につなげる工夫がされている。
- 思考ツールや対話スキルを活用することで、多面的・多角的に考え、協働して問題解決に取り組めるように工夫されている。
- ・付録「学びの道具箱」「話し合うためのコツ」「心を通わそう」「考える準備たいそう」
- 現代的な課題は、教材とコラムの構成でユニット化し、多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。
- ・いじめ問題、情報モラル…全学年。
- ・環境、共生…3～6年。
- コラムがついている教材もあり、学びを日常生活に生かしたり、他教科とつなげたりすることができるような工夫がある。
- ・家庭との連携マーク→情報モラル（全学年）、心を通わそう（1～4年）
- ・「感じよう いのち」→「生命の尊さ」の教材後、体験を通して考える。
- ・「環境」「共生」コラム→「夏休みに調べてみよう」「冬休みに調べてみよう」